

航海課尉官職務章程

第一条

航海課尉官ハ艦船長及ヒ先任官ノ命令ヲ遵守勉勵シテ施行スルノミナラス尚又從屬ノ諸士官各々其職務ヲ勉勵シテ施行セルヤ否ニ注意スヘシ

(時辰儀捲方並ニ時辰儀日誌)

第二条

時辰儀ハ毎日午前八時ニ之ヲ捲キ時辰儀日誌ヲ精密ニ記載シ而メ諸時計ヲモ之レト比較スヘシ

(時辰儀測定)

第三条

航海課尉官ハ常ニ時辰儀ノ差ヲ測定シ出帆ノ前ニ當テハ殊ニ之レヲ精密ニ測定スヘシ

(羅針方位牌漏斗)

第四条

航海課尉官ハ凡テノ羅針ヲ擔當シ之レヲ取扱フヘシ而メ諸羅針及ヒ豫備ノ方位牌ニ注意シ漏斗ハ屢々之レヲ比較シ時限ヲ試ムヘシ又夕測程線及ヒ測鉛線ノ寸尺ヲ正シ總テ此等ノ諸具ヲ應用ニ差支ナカラシムヘシ

(海圖風雨針時辰儀)

第五条

航海課尉官ハ測量用ノ海圖風雨針時辰儀其他諸器械ヲ擔當スヘシ

(引渡シ目錄)

第六条

航海課尉官若シ他士官ト交代スル力或ハ退艦スル時ハ請

持ノ諸品引渡ノ為メ其ノ目錄ニ雙方檢印シ艦船長へ届出ツヘシ

(常備品明細書)

第七条

新夕ニ艦船乗組ノ節航海課尉官ハ艦船ノ総表並ニ彈藥索具鎮錘等艦内常備品ノ明細書ヲ請取り別ニ許可アルニ非レハ其方法ヲ變換セサルヤウ注意スヘシ

(鎮錘水罐)

第八条

航海課尉官ハ鎮錘(バラスト)ニ木屑及ヒ汚物等之レナキヤウ又夕水罐及ヒ水桶ヲ取扱フ時ハ毀損ヲ生セサルヤウ且ツ水罐ノ螺旋(ネジ)ニ最モ善ク注意シ諸水罐ノ下底ニアル螺旋ハ止ムヲ得サル時ノミ開キ水罐ノ水漏出セサルヤウ又夕常ニ蓋ニテ之レヲ掩ヒタルヤ否等ニ注意スヘシ

(薪炭積載法)

第九条

航海課尉官ハ艙内へ積載シ得ヘキ程務メテ多ク薪炭ヲ貯蓄スヘク若シ其艦ニ貯蓄シタル食料ノ日数ヨリ積載シタル薪炭不足スルヲ認メハ其旨ヲ艦船長へ申出ツヘシ

(食料積載及ヒ其品質検査)

第十条

航海課尉官ハ食料ヲ積載スル時ニ於テ其品物ノ内性質良好ナラス且ツ其分量不足アルヲ認メハ其状ヲ艦船長へ報知シ相當ノ士官ヲシテ直チニ其品物ヲ検査セシムヘシ

(食料費耗手續)

第十一条

航海課尉官ハ食料ノ成ル丈ケ古品ヨリ費用シ而メ新品ヲ

収受スル時ハ之レヲ右品ノ下ニ積ミ或ハ物品ノ種質ニヨリ敗損セサルヤウ注意スヘシ

(艙内景状及ヒ積載所識別)

第十二条

航海課尉官ハ常ニ艙内ノ景状ニ注意シ艦務ニ支障ナキ時ニ於テハ乾燥且ツ清潔ナラシメ殊ニ諸品及ヒ食料ノ積載所ヲ了識シ必要ノ時ニ當リテハ見出スニ遲滞無ランヤウ注意シヘシ

(艙内貯蓄方)

第十三条

航海課尉官ハ艙内貯蓄方ノ圖並ニ鎮錘ノ分量水罐及ヒ水桶ノ員数大小及ヒ水ノ容量食料ノ個数及ヒ石高其他艙内ニ貯蓄セル諸物品ノ種類及ヒ斤量等ヲ明細ニ書記シ艦船長ヘ差出シ置キ若シ貯蓄方ノ変改アラハ時々之レヲ上告スヘシ

(航進ノ模様)

第十四条

航海課尉官ハ航海中艦船航進ノ模様ニ注意シ若ハ之レヲ改良センカ為メ貯蓄方ノ変換ヲ要スル事アラハ之レヲ艦船長ヘ上告スヘシ

(所管諸庫ノ鍵)

第十五条

航海課尉官ハ所管諸庫ノ鍵ヲ預リ而メ之レヲ私室ニ置クヘシ又タ之レヲ用ユ可キ士官ハ直チニ之レヲ使用スルヲ得ヘシ

(諸索具)

第十六条

航海課尉官ハ所定ノ式様ニ従ツテ帆ヲ取着クル事ニ注意

スヘシ

(帆庫)

第十七条

航海課尉官ハ帆庫乾燥セルヤ諸帆整頓セルヤ否ヲ點檢シ若シ破損セルモノヲ見ハ直ニ修理スル為メ艦船長ヘ之レヲ上告スヘシ

(三長所属諸庫)

第十八条

航海課尉官ハ掌砲長水兵長木工長ヘ所属ノ諸庫清潔ニシテ且ツ大氣流通宜シキヤ否ヲ點檢シ而メ各庫ノ属品互ニ錯雜セス齊頓セルヤ否ニ注意スヘシ

(静索動索ノ點檢)

第十九条

航海課尉官ハ諸静索ノ緊張ニ注意シ屢々之レヲ檢査シテ常ニ弛緩セサルヤウ且ツ諸動索モ亦タ整頓セルヤウ注意スヘシ若シ其不良ナルヲ見ハ之レヲ艦船長ヘ上告スヘシ

(錨鎖)

第二十条

航海課尉官ハ諸錨鎖内端ノ留方整頓ナルヤ又タ投錨前ニハ錨鎖走出ニ障害ナカラシメ「ストツバル」及ヒ「リングローブ」ヲ整頓シ諸事投錨ニ支障ナカラシヤウ注意スヘシ

(碇泊中錨索経路)

第二十一条

航海課尉官ハ単錨ニテ碇泊ノ節錨鎖ノ錨ニ搦マリニ注意シ雙錨ニテ碇泊ノ節ハ錨索ノ経路ニモ亦タ注意スヘシ

(航行嚮導陸地接近)

第二十二条

航海課尉官ハ水先嚮導ヲ要スル航路ニ於テハ絶ヘス測鉛ヲ投シ其深淺ヲ實測シ又夕投錨ノ準備ヲ為ス事ニ注意スヘシ

(經緯度羅針偏差)

第二十四條

航海課尉官ハ航海中毎日實測シタル艦船所在ノ經緯度ハ正午ニ之レヲ算定シ或ハ羅針ノ偏差ヲ測リ或ハ其他艦船所在ノ位置ニ付艦船長ヨリ命スル事件等ヲ記載シテ其書簿ヲ差出スヘシ

(艦内日誌擔任)

第二十五條

航海課尉官ハ艦内日誌ヲ擔任スヘシ艦内日誌ハ正本ニ當直士官諸事ヲ記載シ此レニ調印シタル後其記載ノ適當ナルヤ否ヲ檢閲シ毎日午後速ニ艦船長ノ點檢ニ備フヘシ而メ其副本ヲ作り毎月曜日ニ艦船長ノ點檢ニ備フヘシ

(艦内日誌記方)

第二十六條

艦内日誌ニハ所定ノ式様中各種ノ項目ニ依テ記載スル事件ノ外左ノ事項ヲ記入スヘシ

第一艦船傾欹ノ角度ニ付時々ノ報告

第二暗礁発見等ノ諸件ヲ記スヘシ

第三檣桁銃砲其他諸品ノ亡失及ヒ破損或ハ帆ノ破損旗旒ノ飛裂或ハ其他不慮ノ災害但シ亡失品ノ分量ヲ記載スヘシ

第四諸雜品食物桶水衣服及ヒ寢具ノ收受授与檢査返

完等ノ大略ヲ記載スヘシ

第五艦船ノ用ニテ買求メタル諸品食物本國ノ商船及ヒ外國ノ軍艦等へ與ヘタル諸品及ヒ食物ノ品目ヲ

略記スヘシ

第六食物ノ給與ニ付別段ノ配出等ヲ記スヘシ

第七水兵ニ配與セシ為メ開蓋シタル食物桶衣服包及ヒ其箱ノ題号及ヒ番号但シ此食物衣服ノ分量ハ其桶及ヒ箱ニ記セル分量ト其内ノ分量ト差異ヲ生シタル時ノミ之レヲ載スヘシ

第八曳船小船埠頭及ヒ倉庫借受ノ件

第九臨時雇入諸職工ノ人員

第十諸操練

第十一懲罰及ヒ警察ノ事件

第十二諸士官出入艦及ヒ退艦

第十三男女便船人ノ姓名並ニ乘退

(艦内日誌改正)

第二十七條

艦内日誌ニ當直士官証印シタル後尚ホ諸改ムル事ヲ至當ト為ストモ艦船長ノ許可ヲ得ルニ非レハ決シテ之レヲ改ムルヘカラス

(風雨針寒暖計)

第二十八條

風雨針或ハ寒暖計ノ度並ニ海水温度ハ午前午後四時八時十二時ニ於テ之レヲ艦内日誌ニ記載スヘシ

但シ時化ノ時ニ於テハ毎時風雨針及ヒ寒暖計ノ度ヲ記載スヘシ

(艦内日誌保存)

第二十九條

航海課尉官ハ艦内日誌ニ航跡圖ヲ副ヘ航海中ハ三ヶ月毎ニ碇泊中ハ毎月副本へ調印シ艦船長ヲ經テ之レヲ艦隊指揮官へ出スヘシ而シテ其正本モ毎月調印シテ之レヲ艦船

長へ出シ艦内ニ保存スヘシ

(航海雜記)

第三十条

艦内日誌ノ外航海課尉官ハ航海雜記ヲ記載スヘキモノニシテ此雜記ニハ水路ニ關係セル辨説ヲ記載スヘシ

航海課尉官ハ航路ノ各所ニ於テ航海ニ関セル要件ヲ務メテ詳知スヘク且ツ其諸件ニ付己レ識得シタル事件ヲ雜記中左ノ題号ヲ設ケ其下ニ書載スヘシ

第一緯度

第二經度

第三羅針ノ偏差及自差

第四新月或ハ満月ノ際高潮ノ時限

第五大潮及ヒ小潮ノ時海潮ノ高低

第六流行ノ風向

第七隨地晴雨ノ定候

(海圖ノ誤謬等改正)

第三十一条

航海課尉官ハ艦内備付ノ海圖ニ誤謬ヲ認メ又タハ新夕ニ暗礁等ヲ発見セバ改正センガ為メ之レヲ航海雜記ニ記載シ而シテ艦船長ヲ經テ速カニ其改正ヲ艦隊指揮官へ申出ツヘシ

(海上砲突豫防規則)

第三十二条

航海課尉官ハ航海中別テ海上衝突豫防規則ヲ遵奉シ事ニ臨ンテ安全ノ処置ヲ為スヘシ

(航海課少尉及ヒ少尉補)

第三十三条

航海課少尉及ヒ少尉補ハ總テ課長ノ職務ヲ補佐シ若シ課

長不在ノ時ハ之レカ代理ヲ為スヘシ

(吃水)

第三十四条

航海課尉官ハ食料飲水石炭等ヲ出納スル時ハ艦ノ吃水ヲ検査シ尤モ能ク之レニ注意ヲ加フヘシ

(分任)

第三十五条

第十六条第十七条及ヒ第十九条第二十条ノ如キハ航海課尉官擔任スルハ勿論ナリト雖モ其分任ノ都合ニ依リ尉官之レヲ請持ツモアルヘシ